

問3 A vs B

10名

優秀答案発表

ふたつの異なる自然環境を取り上げ、
それぞれの地域に発達した文明の違いを、
なぜその違いが生じたかの理由とともに説明してください。

実在のものでも架空のものでもよいですが、
講義で取り上げた事例そのままは用いないこと。

男女の力関係 M.T.さん

石漠化の国と資源豊かな国。石漠化の国では食料量が少ないので、それを増やすためのお金は日本人たちの支援でカバーされる。また男性が有利な社会となる。資源の国では人件費にはあまり困らないが、家畜を育てるために女性の力も必要になる。男女が「ある程度」平等になる。

一夫多妻のわけ R.O.さん

日本のように水資源が豊富で食物にあまり困らない地域と、資源が不足しマラリア等の病原菌の危機にさらされている地域を比較すると、日本のような地域では弱い子供でも大人と大人まで育つ可能性が高いが、苛酷な地域ではすぐ死んでしまう。そのようにして一族がほろびていくのではないように、そのような地域では一夫多妻にして強い遺伝子を持つ男が多くの子供を残せるようにするのはないだろうか。

食べ物多いと相対的価値観 Y.O.さん

森林で発達は文明と、砂漠で発達は文明の価値観の違い。

森林では食料が豊かで、どの食料を食べるか、どちらの肉がおいしいかなど選択の余地がある。

森林、周りに生物がたくさんいる → 相対的価値観が生まれる。砂漠では食料、生物は全く。

物の絶対的価値観が生まれる。

森林では、生物が死んでも、そこから花が育ち、新たな命が生まれ、車輪の転生の思想が生まれる。

砂漠では、死んだものは土に帰らないという終末論の思想が生まれる。

地獄や地

乾燥すると一神教 A.M.さん

乾燥した厳しい環境の土地（中東など）と降水量が多く温暖な土地（日本など）の違い。

1 乾燥地域では灌漑技術（カヌー、フーガラなど）が発達するが、降水量の多い地域では必要性がないので発達しない。

2 宗教：乾燥した厳しい環境では一神教で信仰心の強い人が多い。

→（神にいいの、で現状をなんとかしてほしいと考えるから）

温暖な土地では、現状でも人が暮らせるため、信仰心の強い人は多くない。

侠の思想 T.I.さん

ヨーロッパに比べて中国は土地が豊かで統一がしやすいため、大規模な統一国家が生まれやすく、その結果王が民衆を圧迫することで同胞を助ける「侠」や「義」の精神が生まれた。その対しヨーロッパでは統一国家が生まれず、国が民に激しい圧政を強いると他国につけこむるので民衆の間で「侠」のような精神は生まれず、鴻門会のような奇跡はあこらなかつた。

魔法のタイプ K.W.さん

「イリスと日本。」どちらも島国だが、湿潤で気候はおおむね穏やかだがたまに台風や火山の噴火などの大災害が来る日本と、普段から気候が厳しいイリス。イリスで発達(想像?)した魔法は、人間が大きな力を得て何でもできるようにするタイプ。(『ハリー・ポッター』だが、日本が考えたのは個々の自然現象ごとの神様を設定のそかにした形式(『古事記』、『空の母』)だった。

スポーツのタイプ M.Y.さん

平地が多い地域 A と 山や谷が多く入りこんでいる地域 B を仮定する
これらの地域のスポーツの発展を考えると A は同じ条件を用意しやす
く人対人のスポーツが発展し、B では地形の性質上人対
自然（ロッククライミング等）が発展すると予想できる。

トイレ文明 S.M.さん

日照りの強い乾燥した地域では、人間の排泄物も放っておいてもすぐカラカラ
に乾くが、湿気が多く、じとじととした気候の続く国では、排泄物を放っておくと悪臭を
放つようになってしまう。湿気の多く、じとじととした国...日本ではトイレが異様な発達をとげている。
これが、上のような理由から、「トイレ」というものに重きを置くようになった日本の「トイレ文明」。

羊の運命 N.N.さん

A: 極寒の地、 B: 比較的温暖な地域

AとBにはどちらにも羊に似た動物がいるが、Aではその動物の毛皮を使うために殺さずに毛だけを刈っていたが、Bでは肉を食べるために殺してしまっていた。そのため、Bでは~~個体~~が激減し、食料不足となった。Bでは順調に~~個体~~が増えているため、^A食料にも補えるようになった。

浦島太郎 R.S.さん

陸上と海底(映: 浦島太郎) / 陸上は周りに色々な色があるため、家の色を明るくする必要はなく、引力の為に一般人の家は小さく、社会の為に他種(人)をいじる。海底は周りに水で青色の為に、他の場所から来やすいように派手であり、浮力のため、竜宮城という大きな建物に集団で住むことができ、魚類という大きな群れにいるため、他種(浦島太郎)をすんなり受け入れられる。